

ベラルーシ共和国 国立体育・スポーツ学院（講師 仲田直樹）

平成30年4月より本学講師の仲田直樹は、国際交流協定を締結しているベラルーシ共和国国立体育・スポーツ学院に海外派遣され、格闘技系スポーツにおける競技レベルの高い選手（オリンピック候補選手等）のトレーニング方法や技術向上策、育成方法について研究活動を行うとともに、現地での柔道講習会をはじめとするスポーツや文化イベントに参加するなど交流を深めている。

【研究活動】

2018年4月～2019年9月までの期間は、主に量的研究に従事し、2019年10月以降は主に質的研究（半構造化面接）を行っている。

《投稿中、2件》

- ・東欧の伝統格闘技関連（体育学研究）
- ・ベラルーシ柔道選手の特徴（ベラルーシ国立体育・スポーツ学院紀要）

《執筆中、1件》

- ・ベラルーシ国立体育・スポーツ学院の柔道の授業について

《調査中、2件》

- ・ベラルーシ柔道連盟の柔道段位制度関連
- ・旧ソ連のスポーツマスター制度について

【社会的活動】

- ・地方都市での定期的（月に1～2回）な柔道講習会
- ・小児がんセンター訪問
- ・臨時コーチ（ジュニアナショナル柔道チーム）

<仲田講師のレポートから>

柔道講習会（ヴィテプスク州ノバポロツク市）

令和元年11月29日(金)、ヴィテプスク州ノバポロツク市にて柔道の講習会を行った。

今回の講習は、小・中・高校生(約30名)を対象とする講習に加えて、指導者(8名)への講習も行った。講習内容は、一本背負投と内股のその場での打ち込み(技の反復練習)、移動しながらの打ち込みを徹底して説明した。

また、地元テレビ局の取材があり、その様子が放送された。

<https://www.youtube.com/watch?v=-FpILbdEp1c>

また、ノバポロツク市は、バルト三国の一国であるラトビアまで60kmと近距離にあることからラトビア柔道協会とも親交があり、ラトビア共和国での柔道講習会開催についての依頼もあった。

